



第3号

# 「めぐみちゃんの まちづくりだより」

～ 市民と農家の宝もの けやきの里のめぐみです ～

西東京市では、農業者と市民が相互理解を深め、都市の農業・農地が持つ多面的な機能を発揮させることにより、農地の保全を図っていくことを目的に、「都市と農業が共生するまちづくり事業」を進めています。北町の『農のアカデミー体験実習農園』では11月の初旬から、参加団体が順次、「まちの畑」で育った野菜の収穫を行っています。

事業の  
ねらい

援農ボランティアさんたちにとっては、  
**農を知り、農を学び、農を楽しむ**  
子どもたちにとっては、  
**農を楽しみ、農に親しむ場**とします。

事業の  
効果

**農の生涯学習を  
目指しています。**

## 1 “親子で野菜づくりにチャレンジ”

9月16日（日）に市内在住の親子で、「農のアカデミー」でカブの種蒔とハクサイの定植を行いました。カブは「スワン」というやわらかく甘みがある品種で、お漬物やサラダで食べると美味しいそうです。「ハクサイ」は、葉の内側が黄色いのが特長です。11月の収穫までは「まちの畑のプロ」である3名の農業委員の方々がお世話をしてくださいました。

11月18日（日）にカブとハクサイの収穫を行いました。「まちの畑のプロ」からは、カブは葉や茎まで美味しく食べることができるので、葉と茎も大事に持帰ってほしいというお話をうかがいました。カブもハクサイも大きく立派に成長して、参加者の方々は驚きと喜びの中、親子で収穫を楽しみました。



## 2 “農業わくわく散策会”

10月20日（土）に開催された「農業わくわく散策会」では、保谷駅からはなバス乗車して、「花摘みの丘」と「農のアカデミー」を巡りました。「農のアカデミー」ではカブの収穫体験を楽しみました。収穫の前に、カブを育ててくれた援農ボランティアの方々から「まちの農業の魅力」についてお話をうかがいました。



### 3 援農ボランティアの活動と子ども達の農業体験 (7月末～11月)

「農のアカデミー体験実習農園」では、7月末～11月に下記の作業を行いました。

- ・種まき(ニンジン、ダイコン、カブ、葉物)
- ・苗の定植(ハクサイ、ブロッコリー)
- ・散水
- ・除草
- ・つるあげ
- ・追肥
- ・間引き
- ・収穫
- ・生育観察



「農のアカデミー」では、指導農家の皆さんから野菜の生育について、収穫する野菜を誰がどのようにして世話をしていたかについて話を聞いてから作業を行い、作業が終わってからも農業や農地について分かり易い解説をしていただきます。今年度の活動は終了となりますが、市では、引き続き『農のアカデミー体験実習農園』を活用した事業を展開し、都市農業の魅力を伝えていきます。

指導農家の皆さん、援農ボランティアの皆さんどうもありがとうございました。また、来年度もよろしくお願いいたします。



西東京市では、貴重な農地を残していくために、「東京都農業・農地を活かしたまちづくり事業」を活用した、「西東京市都市と農業が共生するまちづくり事業」をすすめています。「農のアカデミー体験実習農園」は本事業の支援を受けています。

発行：西東京市  
生活文化スポーツ部  
産業振興課

